

令和7年度群馬県高等学校「情報Ⅰ」AIドリル教材モデル校事業仕様書

1 調達をするライセンスの種類及び数量

「情報Ⅰ」クラウド型 AIドリル教材（以下「AIドリル」という）

2 使用期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

3 モデル校数、利用者数

（モデル校）

前橋南高校、太田高校、沼田高校、渋川高校、渋川女子高校、富岡高校 6校

（利用者数） 1286名分

4 調達するクラウド型教材の仕様

（基本事項）

- ① 高等学校学習指導要領「情報Ⅰ」の(1)～(4)を全て学習できるものであること。なお、プログラミング問題は、大学入学共通テスト用のプログラム表に対応していること。
- ② 大学入学共通テストに向けた演習形式の学習を、生徒が自立的に実施できるものであること。
- ③ 教材はクラウドベースで、PC・タブレット等から利用可能で、学校や自宅で利用ができること。
- ④ 教材を導入してから、生徒が卒業するまでの期間、教材のすべてのコンテンツを利用することができること。
- ⑤ 大学入学共通テストと大問構成や解答時間等が同形式の模擬問題(CBT 方式)を年間で2回以上実施できること。なお、模擬問題は、最新の大学入学共通テストの出題傾向を反映したものとする。
- ⑥ 模擬問題の実施結果から、自動で生徒一人一人の学習の力点と学習プランが作成され、個別最適な反復学習が実現できるものであること。
- ⑦ 模擬問題については、生徒の自立的な学習に資するため、生徒向けの解説が付属していること。また、教員向けには、模擬問題の PDF や設問ごとの詳細な解説動画が付属していること。
- ⑧ 収録されている演習問題は、単元別・難易度別に分類され、ドリル形式で効果的な学習を行うことができるものであること。なお、問題数は800問以上を収録し、本教材で大学入学共通テストの対策が網羅できるものであること。

（個別最適学習機能）

- ① 生徒自身が、本教材の取組日数や演習問題の取組数を把握でき、自身の学習進捗を振り返ることができること。
- ② 「情報Ⅰ」の全単元の学習内容を振り返り、学習到達度を測定するための大学入学共通テスト形式の模擬問題(CBT 方式)とドリル形式で反復学習が可能な演習問題があること。

- ③ 演習問題は「基礎」「応用」などの難易度別に分類されており、生徒は自身で難易度を選択して学習できる機能があること。また、自主的に取り組むことのできる単元別のテスト機能を有していること。
- ④ 演習問題の解答後に、正誤判定、問題の解説が確認でき、間違えた問題は反復して学習できる機能を有していること。
- ⑤ 模擬問題の実施結果をもとに、生徒が学習に力点をおくべき分野や学習プランが提示される機能を有すること。

(教員向け支援)

- ① 教員が、個々の生徒の状況に応じた指導を行うことができるように、各生徒の進捗状況がリアルタイムに表示される進捗管理の画面を有していること。
- ② 年間をとおして、教材の使い方から授業計画の相談までの対応が可能な、電話・電子メールによる専任のカスタマーサポートがあること。

(動作環境)

- ① 下記の PC・タブレット・スマートフォンで利用できること。

PC

- ・Windows (OS: 10～最新)
- ・Mac (OS: Catalina～最新)
- ・Chromebook (OS: 最新)

タブレット

- ・iPad (OS: 最新)

スマートフォン

- ・iPhone (OS: 最新)
- ・Android (OS: 最新)

- ② 動作にあたって専用のソフトウェアは不要で、下記のブラウザで利用できること。

PC

- ・Google Chrome
- ・Microsoft Edge
- ・Safari

タブレット・スマートフォン

- ・Google Chrome
- ・Safari

- ③ 演習問題は、スマートフォンでも利用できること。
- ④ 教材利用に当たって、Google アカウント又は Microsoft アカウントとのシングルサインオン連携ができること。

5 セキュリティについて

プログラミング教材に係るセキュリティ及び個人情報保護の取り扱いについては、民法、刑法、著作権法、不正アクセス行為の禁止等に関する法律、個人情報の保護に関する法律等の関連法規を遵守することはもちろんのこと、本県が規定する関連法規および本県条例を遵守し、適切に実施すること。

6 事業の効果検証

モデル校における模擬問題の結果等に基づいて、実施前後の生徒の学力について調査・分析するなどして、事業の効果を検証する。

事業効果の検証結果について報告書にまとめ、令和8年3月31日までに委託者に提出する。